

医学の進歩に伴つて人の寿命も戦後急速に伸びてきましたことは誠に喜ばしいことあります。今まで国民死亡の首位を占めていた結核も新薬の普及によつて次第に底下し、現在では高血圧を原因とする病気の死亡が統計の上で一番高率を現わしております。

「脳溢血が国民死」の第一位を占めてきたために一般的の関心が高血圧に向かはれ、ちよつとでも血圧が高いといわれますと大変気にしてノイローゼ症状を示す人が多くなつてきています。

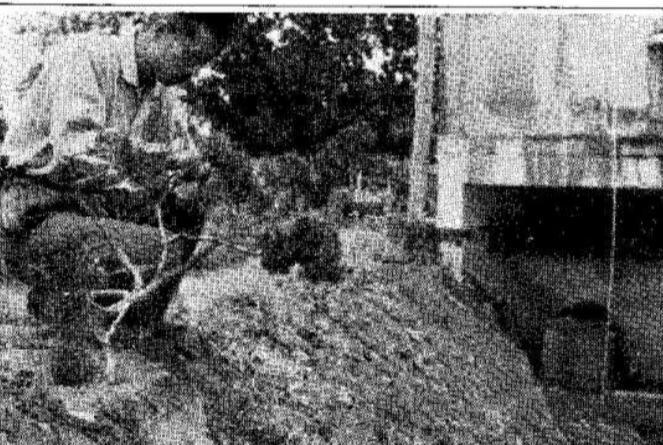
日頃健康そうな人が突然卒倒するというようなことがありますと、病気は不意にやってくるように見えますが、原因は内臓で進行し、高血圧によって動脈が硬化しつゝあるのです。この大事を起こさぬためには、ふだんから心掛けが必要で、常に血圧を高くするような条件はできるだけ避けようのですが、大切な大切なことがあります。

## ～ 血圧に御注意～

自分の血圧や心臓の働きなどについて定期的に検査してもらい、故障があつたら早期に治療して常に若々しい体で長寿を保つていただきたいのです。昭和三十四年から四十才以上の希望者の方に毎年一回ずつ血圧測定を実施しておりますが、次の表は過去三カ年の検診結果であります。

### 血圧測定実施状況（3ヵ年間）

地 区	性別	検 査 数	要注意者数	要治療者数
小 須 戸	男	9 1	3 2	1 4
	女	2 0 9	9 7	2 2
矢 代 田	男	7 5	2 8	1 2
	女	2 2 0	8 7	1 2
天 ケ 沢	男	2 7	1 1	1
	女	6 2	2 0	1
新 保	男	4 4	1 9	5
	女	1 1 1	4 8	1 5
竜 玄	男	1 2	3	5
	女	2 1	6	5
横 川	男	2 4	1 1	5
	女	6 2	2 8	1 2
小 向	男	7	4	2
	女	7	4	0
水 田	男	1 3	5	1
	女	2 6	9	1
計	男	2 9 3	1 1 3	4 5
	女	7 1 8	2 9 9	6 8



水道も終り充分な水の出がる、とシテ他のは郡へ寄附している。他町は植木につた。

水道へ植木御寄附 水道の改修工事も終りて部落の末端まで充分に水が供給され、感謝されていが、このほどウデコキ上田銀次氏から水の出良くなつて喜んでいたところ、バト、つゝじの他の親族も水數十本を水道部へ寄附されで感謝されている。

水道職員は早速浄水場へ植木を植えると共に、他町にから規察に来ても植木本なく、殺風景だつたが、将米植木益糸地の水道をして恥かしくないよううそおうと手入れをするやうだら、おはりきりで淨化場の美化に努めている。

(写真は御寄附の盆栽)

ホタル

なぎさ  
ホタル

須戸町教育委員会は ほど社会教育委員の を徴して次のように		閉体運営協議会を十一月 に開催することを予定し ている。	
度社会教育計画を定 したが、町民の皆さ 御協力を得て大いに 成果のあがることを するものであります		二、社会体育の振興	
婦人教育の振興		東京オリンピックの開 催本県における国民体育 大会の開催を昭和三十九 年にひかえ、政府や県当 局の国民体育振興方策に 呼応して体育振興団体、工 場・事業所等との連係を密 接にして、社会体育指導 委員ならびに推進員の活 動によって各種社会体育 の普及振興につとめるこ と。	閉体運営協議会を十一月 に開催することを予定し ている。
勤労青年教育		三、新生活運動	
少年団体、婦人団体 発的な活動を促し特に 学級の開設につとめ るが為に青年団指導者 の普及振興につとめるこ と。		過去二ヵ年に の新生活運動指 導の新生活運動指 導して収めた成果 める為に、新生	

今年の社会教育計画決まる

広報  
こすじ

發行所  
小須戸町公民館  
新潟県中蒲原郡小須戸町  
印刷発行人 矢部藤三郎

時  
は

再びもどらない

年度特に努力してゆきたくあります。そこで、一応本年度として以上四つの事項を掲げたのであります。始めにのべた通り、何としても町民の皆さんのが絶大なる御理解と御協力を得なければ満足な運営は望まれず、ひいては所期の目的を達することには出来ませんから、重ねて町民各位が各種社会教育活動に積極的に参加され、お互に教養を身につけると共に、住みよいわが小須戸町の建設の為に、御協力をいたゞきたいことをお願い致します。

最後に刻々に進展する社会状勢に即応した社会教育が行われるように、社会教育全般について皆様の御助言を与えるという意味を有し、一定の資格の導師を有する社会教育主事をおおむね行なわなければならないことに法規で定められておりま

年々大きくなる  
乳児検診

